

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	波岸康幸
		全体計画						経費区分		-		内線	026-246-7100
事務事業名	4313 博物館管理運営事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費											
	事業	020000 博物館管理運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。						まるごと博物館の実現に向けて、機能分散型総合博物館 拠点施設である博物館本館（現博物館）及び博物館 分館（笠鉾会館）において、資料の収集・保存及び調 査研究活動等を行い、特別展等の開催や各種講座・講 演会等の事業を推進し、市民の生涯学習の場とすると ともに来館者の回遊性を高める。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」参加者68人	「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」（本館）、 企画展示（分館）
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	年間入館者数（市立博物館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績				5,976
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（5,657人）より、各年0.5%ずつの増				
指標名	年間入館者数（笠鉾会館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績				5,976
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	令和3年度 市立博物館と同実績値（5,858）とし、各年0.5%ずつの増				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

（単位：千円）

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		13,528	40,524
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	66	460
一般財源		13,462	40,064
人員数（人）	正規職員	0.8	0.0
	嘱託職員	1.7	0.0
	臨時職員	1.2	0.0
人員コスト	正規職員	5,574.4	0.0
	嘱託職員	5,353.3	0.0
	臨時職員	2,013.6	0.0
	計	12,941.3	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.8
総額		26,469.3	40,524.0

（単位：千円）

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	109	講師謝礼50、展示品借用・指導等謝礼100、委員等謝礼49
10節 需用費	1,254	展示等消耗品費658、燃料費60、印刷製本費451、光熱水費203、修繕料15ほか
12節 委託費	162	警備保障委託393、大型製糸模型等解体運搬365
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	23	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金130
その他	11,980	報酬5,672、共済費1,274、賃金3,262、旅費11、役務費767、使用料及び賃借料156

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	490	講演会・講座等講師謝礼190、収蔵品整理指導等謝礼115
10節 需用費	7,708	展示等消耗品700、ポスター・チラシ等印刷250 ほか
12節 委託費	5,296	館内警備保障委託198
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	156	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金130
その他	26,874	報酬4,072、給料4,890、職員手当1,499、共済費1,556、旅費196、役務費921、使用料及び賃借料152、公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民が歴史、芸術、民族、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、講座活動等を開催している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	博物館の収蔵品整理・台帳化を進め、市内の歴史・文化を確認し今後の博物館展示に生かしている。また、市民が地域についての理解と関心を深めるため、本館では館外活動「須坂きのこ展」や「臥竜山探検」、分館では企画展示を開催している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	博物館ボランティアの協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説等の収蔵品活動を展開している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

リニューアルオープンに向けて機能分散型総合博物館構築を進めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
機能分散型総合博物館及びまるごと博物館構想を進めていく必要がある。		まるごと博物館構想の具現化に向けて、これまでの展示・講座手法を見直し、市民や地域と一体となる取り組みが必要	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント